

任ヲ部下ノ指揮ヲ總理ニ  
隊中ノ事務ヲ總理ニ  
小尉之ニ任シ部下ニ  
隊長ノ命ヲ受ケ開受  
○東京府布達甲第廿一  
地券下興及書換願

第九百六十一

九百六十一  
日曜日休刊

軍艦五十二艘ヲ擊沈メ土兵七千人ヲ殺シタルヲ除キ  
ハ近代ニ於テ殆ンド前例ナキ大勝ナリト云フベシ其  
ヨ至リテモ台灣ナリ浙江ナリ又東京ナリ苟モ戰爭ノ  
アレバ佛軍勝利ノ報ハ必ズ之ヨ伴ヒ至ル有様ナリシ  
三月下旬ニ至リテ突然諒山ノ敗北アリ此戰ハ實ニ佛

テ活セタルモノナレハ事平クノ後モ之ヲ支那ゾ境内ニ  
メテ良民ノ業ニ就カシムルト能ハザルハ最モ晦易キ  
ナリトス既ニ近着ノ香港tereぐらム新聞ニ載セタル  
報ニ據レバ東京ニ於テ佛軍ト黒旗兵トノ間ニ又々激  
アリタリト云々(本月二日ノ紙上)我輩ノ今日此報道

止の中より  
せずして、  
すして、  
せしむし  
る書き方  
分強き

○東京府布達甲第廿四號(伊豆七島小笠原島ヲ除ク)  
地券下與及書換願ノ件ハ本年七月一日ヨリ郡區役所ニ  
於テ取扱候條同日以降都區長へ宛差出スヘシ  
右布達候事

明治十八年五月五日 東京府知事芳川彌正

○第二條 屯田兵ノ建制ハ概不歩

六ノ農ニ官スルノ主旨ニ依リ平常ハ

開墾耕稼ノ事ニ從ハシメ有事ノ日

編成シ敵衝ニ當フシム○第三條

○明治十七年十一月十三日 步兵少佐從六位勳五等

支拂日暮易見一歩兵少佐從六位勳五等

賞勳敍任

ノ敗北ニシテ然モ其敗北モ頗ル大ナル敗北ナリシニ  
達ナシト雖モ佛軍か此一戦ニ敗北ナ取リタルハ決シ  
其兵力ノ支那ニ敵セザルガ爲メニ非ズ當時ノ實際ナ  
ルニ佛軍ハ開戦以來未タ嘗テ敗北シタルヲナキナ以  
飽マニ清兵ヲ輕蔑シ支那ノ大兵踵ナ接シテ廣西ノ南  
ニ集ルニモ拘ハラズ募兵ヲ以テ深ク關内ニ攻入リタ  
チ以ア遂ニ敵兵ノ爲メニ背後ヨリ兵糧ト援兵トノ運

信爲ヲ確ニルニ由ナシト雖ニ目下ノ事情ヨリ考ガレ  
頗ル貴ラシキモノ、如シ又仮令ヒ此報道ヘ事實ニ非  
トスルモ今後之ニ類スル事變ハ早晚兩國間ニ起ルナリ  
レザルベシ左ラヌダニ佛兵ハ敗北ナ以テ戰爭ヲ終リ  
ルヲ遺憾ナリト思フ折柄從來小兒同様ニ佈リ居タル  
那人等ガ憲氣揚々トシテコレ見ヨガシニ己ガ領内ニ  
朝スルヲ見ナハ愚人ノ氣象トシテ最良甚也ハレコロ皆

其發音標準と地勢廳にて取扱つて委細は、

全  
○明治十八年五月四日  
任戸神宮宮司　　全  
時事報　　全  
第三回ノ佛清紛議　　栗飯原常世  
從五位　子爵　伊東　祐歸

ノ敗北ニシテ然モ其敗北モ頗ル大ナル敗北ナリシニ  
達ナシト雖モ佛軍ガ此一戦ニ敗北ナ取リタルハ決シ  
其兵力ノ支那ニ敵セザルガ爲メニ非ズ當時ノ實際ナル  
ルニ佛軍ハ開戦以來未タ嘗テ敗北シタルフナキナ以  
飽マツ清兵ヲ輕蔑シ支那ノ大兵疎ナ接シテ廣西ノ南  
ニ集ルニモ拘ハラズ導兵ヲ以テ深ク關内ニ攻入リタ  
チ以テ遂ニ敵兵ノ爲メニ背後ヨリ兵糧ト援兵トノ運  
チ遮断セラレタル折柄無數ノ大軍ノ爲メニ前面ヨリイ  
擊セラレ衆寡敵セズ遂ニ敗走シ諒山迄モ支那兵ニ取  
サレタルモノナレバ其敗軍ノ原因ハ佛軍ガ餘リニ其罪  
ヲ頼ミテ支那兵ヲ輕蔑シタルノ過ナリト云フベシ之  
喻ヘバ力士ガ餘リニ小兒ヲ輕蔑シテ身撲ナ息タリダ  
機ミコ小兒ノ爲メ足ナ取ラレテ美事ニ投ケラレタ  
ガ如クス、レ事ハ世ニ其利多キモソナリ左ノ如ニ

信爲ヲ確ニルニ由ナシト雖に目下ノ事情ヨリ考ガレ  
頗ル貴ラキモソノ、如シ又仮令ヒ此報道ヘ事實ニ非  
トスルモ今後之ニ類スル事變ハ早晚兩國間ニ起ルナム  
レザルベシ左ラヌダニ佛兵ハ敗北ナ以テ戰爭ヲ終リ  
ルヲ遺憾ナリト思フ折柄從來小兒同様ニ佈リ居タル  
那人等ガ憲氣揚々トシテコレ見ヨガシニ己が領内ニ  
御スルニ見テハ佛人ノ氣象トシテ最早堪忍スルヲ能  
ズスル場合ニ至レバ支那人ガ東京ノ境内ニ於テ一禽  
殺シ一草ヲ抜クモ亦以テ戰爭ノ原因トナルニ足ルベ  
我輩ハ遠カラズシテ第二ノ諒山事變ノ報ヲ聽シコチナ  
ル、ナリ昨年天津條約完結ノ報ヲ聞キタルキ我輩ハ  
京事件ハ是一約ナ以テ終ナ告ケタレ共久シカラズシテ  
再ヒ雲底事件ナルモノヲ生スルナラント云ヒシコトニ

○地券標準と  
○於て取扱廳にて  
○委細は  
○招魂祭  
○鑄銅せ  
一百〇二  
○二十二  
下各商

戰ノ假條約ヲ結ビ同月中旬ヨリ東京并ニ臺灣ノ戰争ヲ停止シ佛國ニテハ既ニ臺灣北海等ノ封鎖ヲ解キ清國ニテモ又追々東京ノ兵ヲ引上ルノ用意ヲ爲ス其際ニ佛國公使ばてのーとる氏ハ佛國政府ノ訓令ヲ帶ビテ清國政府ト平和條約ヲ締結センガ爲メコ去月十九日ナ以テ上海ヲ出發シ同二十三日天津ニ到着シ清國ノ方ニテハ直

ノ敗北ニシテ然モ其敗北モ頗ル大ナル敗北ナリシニ  
其兵力ノ支那ニ敵セザルガ爲メニ非ズ當時ノ實際ナ  
ルニ佛軍ハ開戦以來未タ嘗テ敗北シタルヲナキナ  
飽マア清兵ヲ輕蔑シ支那ノ大兵疎チ接シテ廣西ノ南  
ニ集ルニモ拘ハラズ寧兵チ以テ深ク關内ニ攻入リタ  
チ以テ遂ニ敵兵ノ爲メニ背後ヨリ兵糧ト援兵トノ運  
チ遮断セラレタル折柄無數ノ大軍ノ爲メニ前面ヨリイ  
擊セラレ衆寡敵セズ遂ニ敗走シ諒山迄モ支那兵ニ取  
サレタルモノナレバ其敗軍ノ原因ハ佛軍ガ餘リニ其罪  
チ頗ミテ支那兵ヲ輕蔑シタルノ過ナリト云フベシ之  
喻ヘバ力士ガ餘リニ小兒ナ輕蔑シテ身撃チ怠タリダ  
機ミコ小兒ノ爲メニ足ナ取ラレテ美事ニ投ケラレタ  
ガ如シスル事ハ世ニ其例多キモノナリ左レバねぐ  
名ト將軍チ初メ其役ニ從ヒタル佛兵ハ孰レモ小兒ナ作  
リテ揚足チ取ラレタルヲ悔ミテ此後コソ力士正真ノ  
條約ノ調印モ終リ西國共ニ各訓令ヲ發シテ戰争ヲ停  
前ナ出シテ小兒等ヲ拉殺シ吳レントテ只管其用意最

信鶴ヲ薩ムルニ由ナシト雖曰目下ノ事情ヨリ考ガレ  
頗ル實ラシキモノ、如シ又仮令ヒ此報道ヘ事實ニ非  
トスルモ今後之ニ類スル事變ハ早晚兩國間ニ起ルナリ  
レザルベシ左ラヌダニ佛兵ハ敗北ナ以テ戰爭ヲ終リ  
ルヲ遺憾ナリト思フ折柄從來小兒同様ニ佈リ居タル  
那人等ガ憲氣鍋々トシテコレ見ヨガシニ己ガ領内ニコ  
御スルナ見テハ佛人ノ氣象トシテ最早堪忍スルヲ能  
ズ斯ル場合ニ至レバ支那人ガ東京ノ境内ニ於ケ一禽  
殺シ一草ヲ拔クモ亦以テ戰爭ノ原因トナルコ足ルベ  
我輩ハ遠カラズシナ第二ノ諒山事變ノ報ヲ聽シコチナ  
ル、ナリ昨年天津條約完結ノ報ヲ聞キタルキ我輩ハ  
京事件ハ是一約ヲ以テ終ナ告ケタレ其久シカラズシ  
再ビ雲廣事件ナルモノヲ生スルナラント云ハシコト  
リ然ルニ其識言空シカフズシテ幾モナク諒山ノ一事  
ト遂ニ佛清第二回ノ紛議ナ生シ今日ニ至リテ始メア  
局ヲ結バントスレ共我輩ハ此度ノ和約ニ付テモ亦尙早  
清ノ紛議ハ此一約ヲ以テ結局ニ至ラザルベシト信ズヘ  
ナリ

謀總督李鴻章、全權大臣、總理衙門大臣、鑄珍鄧承修ノ  
二名ガ副大臣ニ任セラレ天津ニ於テ會議ヲ開クベシト  
ノコナレバ昨今既ニ談判最中ナルベシト思ハルスクテ  
此談判ハ急々平和ニ落着シテ両國ノ間ハ再ビ從前ノ和  
好ニ歸スベキ又ハ如何ナル事情ニヨリテカ談判不調  
シ終リ更ニ兩國間ノ戰爭ヲ引起スベキカ是等ハ最モ世

ノ敗北ニシテ然モ其敗北モ頗ル大ナル敗北ナリシニ  
其兵力ノ支那ニ敵セザルガ爲メニ非ズ當時ノ實際ナリ  
ルニ佛軍ハ開戦以來未タ嘗テ敗北シタルノナキナ以  
飽マア清兵ヲ輕蔑シ支那ノ大兵疊ナ接シテ廣西ノ南  
ニ集ルニモ拘ハラズ寡兵ヲ以テ深ク關内ニ攻入リタ  
チ以テ遂ニ敵兵ノ爲メニ背後ヨリ兵糧ト援兵トノ運  
チ遮断セラレタル折柄無數ノ大軍ノ爲メニ前面ヨリイ  
擊セラレ衆寡敵セズ遂ニ敗走シ諒山迄モ支那兵ニ取  
サレタルモノナレバ其敗軍ノ原因ハ佛軍ガ餘リニ其  
チ頗ミテ支那兵ヲ輕蔑シタルノ過ナリト云フベシ之  
喻ヘバ力士ガ餘リコ小兒ヲ輕蔑シテ身搏ナ怠タリタ  
機ミニ小兒ノ爲メニ足ナ取ラレテ美事ニ投ケラレタ  
ガ如シス、ル事ハ世ニ其例多キモノナリ左レバねぐ  
名ニ將軍ヲ初メ其役ニ從ヒタル佛兵ハ孰レモ小兒ヲ  
リテ掲足ヲ取ラレタルナ悔ミテ此後コソ力士正異ノ  
前ヲ出シテ小兒等ヲ拉殺シ吳レントヲ只管其用意最  
何ゾ圓ラソ佛濟兩國ノ間ハ俄ニ平和ニ歸シテ既ニ豫  
條約ノ調印モ終リ兩國共ニ各訓令ヲ發シテ戰爭ヲ停  
ニ入りタル鹿ヲ再び坂逃シタル心地シテ失望首ハシ  
スルコトナリタルニ皆テハ東京ノ佛兵等ハ恰モ一旦  
佛軍ガ此度ノ敗北ヲ見テ佛兵ハ支那兵ヨリモ弱シト  
モノハナカルベシト雖ニねぐり乞ニ將軍ナリくる  
一提督ナリ自ラ遠征軍ノ司令官タル身分トナリテ考  
レバ謁山敗北ノ僅シテ和約ヲ結ハヤ佛國ノ威光ヲ損

人ノ屬目スル問題ナレドモ此ハ別ノ問題トシテ假リニ  
此談判ハ平和ニ歸シ兩國ノ關係一時畜ニ復スルトゼン  
カ我輩ハ佛清ノ紛議ハ未タ此一約ヲ以テ終極スルモノ  
ニアラザルヲ知ルナリ

ノ敗北ニシテ然モ其敗北モ頗ル大ナル敗北ナリシニ  
連ナシト雖モ佛軍ガ此一戰ニ敗北ニ取リタルハ決シ  
其兵力ノ支那ニ敵セザルガ爲メニ非ズ當時ノ實際ヲ  
ルニ佛軍ハ開戦以來未タ嘗テ敗北シタルノナキナシ以  
飽マア清兵ヲ輕蔑シ支那ノ大兵陣ヲ接シテ廣西ノ南  
ニ集ルニモ拘ハラズ導兵ヲ以テ深ク關内ニ攻入リタ  
チ以テ遂ニ敵兵ノ爲メニ背後ヨリ兵糧ト援兵トノ運  
チ遮断セラレタル折柄無數ノ大軍ノ爲メニ前面ヨリイ  
擊セラレ衆寡敵セズ遂ニ敗走シ諒山迄モ支那兵ニ取  
サレタルモノナレバ其敗軍ノ原因ハ佛軍ガ餘ニニ其  
チ頗ミテ支那兵ヲ輕蔑シタルノ過ナリト云フベシ之  
喻ヘバ力士ガ餘ニニ小兒ヲ輕蔑シテ身携ナシタリタ  
機ミニ小兒ノ爲メニ足ヲ取フレア美事ニ投ケラレタ  
ガ如シス、ル事ハ世ニ其例多キモノナリ左レバねぐ  
名ニ將軍ヲ初メ其役ニ從ヒタル佛兵ハ孰レモ小兒ヲ作  
リテ揚足ヲ取ラレタルヲ悔ミテ此後コソ力士正真ノ  
條約ノ調印モ終リ固國共ニ各訓令ヲ發シテ戰爭ヲ停  
前ヲ出シテ小兒等ヲ拉殺シ吳レントヲ只管其用意最  
何ゾ國ラン佛濟兩國ノ間ハ俄ニ平和ニ歸シテ既ニ豫  
ニ入りタル鹿ヲ再び取逃シタル心地シテ失望言ハシ  
ナキ有様ナラン尤支那人中ノ頑陋ナル輩ヲ除クノ外  
佛軍ガ此度ノ敗北ヲ見テ佛兵ハ支那兵ヨリモ弱シト  
モノハナカルベキヤ世上コナハ此一敗ヲ見テ佛軍ノ弱  
ニ提督ナリ自ラ遠征軍ノ司令官タル身分トナリテ考  
佛軍ガ此度ノ敗北ヲ見テ佛兵ハ支那兵ヨリモ弱シト  
レバ諒山敗北ノ僅ニテ和約ヲ結ハヤ佛國ノ威光ヲ損  
ルコナカルベキヤ世上コナハ此一敗ヲ見テ佛軍ノ弱  
チ笑ヒ司令官等ノ失錯ヲ譏ルコハナカルベキヤトテ考  
リ其心ナ疾マシメ鬱々トシテ不快ノ感ニ堪ヘザルコ  
テ敗軍ノ耻ヲ雪クノ機會ナキチ博ムナラン又試ニ之

信爲ヲ離ルニ由ナシト雖に目下ノ事情ヨリ考ガレ  
頗ル貴ラシキモノ、如シ又仮令ヒ此報道ヘ事實ニ非  
トスルモ今後之ニ類スル事變ハ單晚兩國間ニ起ルサニ  
レザルベシ左ラヌダニ佛兵ハ敗北ヲ以テ戰爭ヲ終リ  
ルヲ遺憾ナリト思フ折柄從來小兒同様ニ佈リ居タル  
那人等ガ憲氣昂々トシテコレ見ヨガシニ己が領内ニ  
御スルナ見テハ佛人ノ氣象トシテ最早堪忍スルヲ能  
ベスル場合ニ至レバ支那人ガ東京ノ遊内ニ於テ一禽  
殺シ一草ナ拔クモ亦以テ戰爭ノ原因トナルキ足ルベ  
我輩ハ遠カラズミテ第二ノ諒山事變ノ報ヲ聽シコチア  
ルハナリ昨年天津條約完結ノ報ヲ聞キタルキ我輩ハニ  
京事件ハ是一約ナシ以テ終ナ告ケタレ共久シカラズシ  
再ビ雲廣事件ナルモノナ生スルナラント云ヒシコトニ  
リ然ルニ其譏言空シカナズシテ幾モナク諒山ノ一事  
リ遂ニ佛清第二回ノ紛議ナ生シ今日ニ至リテ始メア  
局ナ結バントスレ共我輩ハ此度ノ和約ニ付テモ亦尙早  
清ノ紛議ハ此一約ナシ以テ結局ニ至ラザルベシト信ズ  
ナリ

レ、理由ハ一ヨシテ足ラザレヒ他事ハ暫ク措キ我驚ガ  
永ク兩國ノ和好ヲ保ツヨ最モ困難ナラント思フモノハ  
一方ロハ佛國兵士ノ不平ト一方ニハ支那兵士ノ驕傲ト  
ノ二事ナリ抑佛清兩國ノ相戰フハ恰モ力士ト小兒ト格  
闘スルガ如キモノニシテ其勝敗ノ孰レニ在ルハ未タ戰  
サ交ヘザルノ前日リ豫知スルヲ得ベシトハ佛清交渉ノ

ノ敗北ヨシテ然モ其敗北モ頗ル大ナル敗北ナリシニ  
遠ナシト雖モ佛軍ガ此一戰ニ敗北ナ取リタルハ決シ  
其兵力ノ支那ニ敵セザルガ爲メニ非ズ當時ノ實際ナリ  
ルニ佛軍ハ開戦以來未タ嘗テ敗北シタル「ナキナシ以  
飽マア清兵ヲ輕蔑シ支那ノ大兵陣ナ接シテ廣西ノ南  
ニ集ルニモ拘ハラズ導兵チ以テ深ク關内ニ攻入リタ  
チ以テ遂ニ敵兵ノ爲メニ背後ヨリ兵糧ト援兵トノ運  
チ遮断セラレタル折柄無數ノ大軍ノ爲メニ前面ヨリイ  
サレタルモノナレバ其敗軍ノ原因ハ佛軍ガ餘りニ其  
チ頃ミテ支那兵ヲ輕蔑シタルノ過ナリト云フベシ之  
體ヘバ力士ガ餘リコ小兒ヲ輕蔑シテ身擣ナ息タリタ  
機ミニ小兒ノ爲メニ足ナ取ラレタ美事ニ投ケラレタ  
ガ如シ斯ル事ハ世ニ其例多キモノナリ左レバねぐ  
ゑト將軍チ初メ其役ニ從ヒタル佛兵ハ孰レモ小兒ヲ仰  
リテ揚足チ取ラレタルヲ悔ミテ此後コソ力士正興ノ  
條約ノ調印モ終リ西國共ニ各訓令ヲ發シテ戰爭ヲ停  
前チ出シテ小兒等ヲ拉殺シ吳レントア只管其用意最  
何ゾ圖ラン佛清兩國ノ間ハ俄コ平和ニ歸シテ既ニ豫  
スルコトナリタルニ侍テハ東京ノ佛兵等ハ恰モ一旦  
ニ入りタル鹿チ再ビ取逃シタル心地シテ失望盲ハシ  
ナキ有様ナラン尤支那人中ノ孤陋ナル輩ヲ除クノ外  
佛軍ガ此度ノ敗北ナ見テ佛兵ハ支那兵ヨリモ弱シトア  
モノハナカルベキヤ世上ニアハ此一敗ナ見テ佛軍ノ弱  
チ笑ヒ司令官等ノ失錯ヲ譏ル「ハナカルベキヤトア  
レバ諒山敗北ノ僅ニテ和約チ結ハド佛國ノ威光ヲ損  
ル「ナカルベキヤ世上ニアハ此一敗ナ見テ佛軍ノ弱  
チ笑ヒ司令官等ノ失錯ヲ譏ル「ハナカルベキヤトア  
リ其心ナ疾マシメ懲々トシテ不快ノ感ニ堪ヘザルコ  
ラニ讀者若シねぐりゑ一將軍ニ面晤スルノ機會アラ  
試ニ記者ノ言チ以テ將軍ニ叩ケ將軍ハ必ず切齒扼腕  
テ敗軍ノ耻ナ雪クノ機會ナキナ博ムナラン又試ニ之  
くるべ、提督ニ叩ケ提督モ亦必ス劍ヲ撫シテ大恩セ  
不平ナ視スノ天地ナキナ嘆スルナラン將軍ト提督ト  
テハ佛兵ガ和約ノ爲メニ不平ノ念ヲ抱クニ加ヘテ  
旗下ニ屬スル數萬ノ勇兵モ其不平ノ度ニ於テハ其司  
方ニハ支那兵等ガ偶然ニモ今度歐洲ノ強國ニ對シテ

相見テ境路攻戻戻強中定正手方ハ思ベキスラル。テシ左ラヌダニ佛兵ハ敗北ナ以テ戰爭ヲ終リ。ルヲ還撫ナリト思フ折柄從來小兒同様ニ佈リ居タル那人等ガ憲氣昂々トシテコレ見ヨガシニ己が領内ヲ犯御スルナ見テハ佛人ノ氣象トシテ最早堪忍スルヲ能ベスル場合ニ至レバ支那人ガ東京ノ境内ニ於テ一禽殺シ一草ヲ拔クモ亦以テ戰爭ノ原因トナメロ足ルベ我輩ハ速カラズミテ第二ノ諒山事變ノ報ヲ聽シコチアル、ナリ昨年天津條約完結ノ報ヲ聞キタルキ我輩ハ北京事件ハ是一約ナ以テ終ナ告ケタレ其久シカラズシリ再ビ雲廣事件ナルモノナ生スルナラント云ヒコトヨリ然ルニ其識空シカナズシテ幾モナク諒山ノ一事ヨリ遂ニ佛清第二回ノ紛議ナ生ベ今日ニ至リテ始メテ各局ニ結バントスレ共我輩ハ此度ノ和約ニ付テモ亦尙早朝ノ紛議ハ此一約ナ以テ結局ニ至ラサルベシト信ズヘナリ。

當初世上一般ノ説ニシテ多分佛國人自テモ亦初ヨリ此戰ニ敗北ヲ取ルベシトノ必配ハ抱カザリシナラン然ルニ實際戰爭ニ至リテモ果シテ世人ノ深悲ニ達ハズ東京ニ支那海ニ佛國ハ戰フ毎ニ勝ダザルヘナシ其勝利ノ最著セキセノヲ擧クレバ昨年八月福州ノ一戰ノ如キ體々

ノ敗北ニシテ然モ其敗北モ頗ル大ナル敗北ナリシニ  
ルニ佛軍ハ開戦以來未タ嘗テ敗北シタルノナキナ以  
飽マア清兵ヲ輕蔑シ支那ノ大兵陣ヲ接シテ廣西ノ南  
ニ集ルニモ拘ハラズ清兵ヲ以テ深ク關内ニ攻入リタ  
チ以テ遂ニ敵兵ノ爲メニ背後ヨリ兵糧ト援兵トノ運  
チ遮断セラレタル折柄無數ノ大軍ノ爲メニ前面ヨリイ  
撃セラレ衆寡敵セズ遂ニ敗走シ諒山迄モ支那兵ニ取  
サレタルモノナレバ其敗軍ノ原因ハ佛軍ガ餘ニ其  
チ頗ミテ支那兵ヲ輕蔑シタルノ過ナリト云フベシ之  
體ヘバ力士ガ餘リニ小兒ヲ輕蔑シテ身携ナ息タリタ  
機ミコ小兒ノ爲メニ足ヲ取フレア美事ニ投ケラレタ  
ガ如シス、ル事ハ世ニ其例多キモノナリ左レバねぐ  
名ニ將軍ヲ初メ其役ニ從ヒタル佛兵ハ孰レモ小兒ヲ作  
リテ揚足ヲ取ラレタルヲ悔ミテ此後コソ力士正異ノ  
前ヲ出シテ小兒等ヲ拉殺シ吳レントテ只管其用意最  
何ゾ圖ラン佛清兩國ノ間ハ俄ニ平和ニ歸シテ既ニ豫  
條約ノ調印モ終リ固國共ニ各訓令ヲ發シテ戰爭ヲ停  
スルコトナリタルニ尙テハ東京ノ佛兵等ハ恰モ一旦ニ  
ニ入りタル鹿ヲ再ビ取逃シタル心地シテ失望焉ハシ  
ナキ有様ナラン尤支那人中ノ頗陋ナル輩ヲ除クノ外  
佛軍ガ此度ノ敗北ヲ見テ佛兵ハ支那兵ヨリモ弱シト  
フルヲナカルベキヤ世上コノハ此一敗ナ見テ佛軍ノ弱  
チ笑ヒ司令官等ノ失錯ヲ譏ルコトハナカルベキヤトテ  
リ其心ナ疾マシメ鬱々トシテ不快ノ感ニ堪ヘザルコト  
ラン讀者若シねぐらゑ一將軍ニ面晤スルノ機會アラ  
レバ諒山敗北ノ僅ニテ和約ヲ結ハド佛國ノ威光ヲ損  
フモノハナカルベキヤ世上コノハ此一敗ナ見テ佛軍ノ弱  
チ提督ナリ自ラ遠征軍ノ司令官タル身分トナリテ考  
佛軍ガ此度ノ敗北ヲ見テ佛兵ハ支那兵ヨリモ弱シト  
フルヲナカルベキヤ世上コノハ此一敗ナ見テ佛軍ノ弱  
チ笑ヒ司令官等ノ失錯ヲ譏ルコトハナカルベキヤトテ  
リ其心ナ疾マシメ鬱々トシテ不快ノ感ニ堪ヘザルコト  
ラン讀者若シねぐらゑ一將軍ニ面晤スルノ機會アラ  
テ敗軍ノ耻ヲ雪クノ機會ナキモ博ムナラン又試ニ之  
くるべ、提督ニ叩ケ提督モ亦必ス劍ヲ撫シテ大恩ヲ報  
不平ヲ洩スノ天地ナキナ嘆スルナラン將軍ト提督ト  
テ敗軍ノ耻ヲ雪クノ機會ナキモ博ムナラン又試ニ之  
於テハ佛兵ガ和約ノ爲メニ不平ノ念ヲ抱クニ加ヘテ  
方ニハ支那兵等ガ併然ニモ今度歐洲ノ強國ニ對シテ  
有ノ勝利ヲ得テ頗ニ驕傲ノ念ヲ増シ天上天下唯支那  
尊ニ佛人ノ如キハ數フルニ足ラズト云ヘル迄ニ之ヲ  
侮スルナラン佛兵ト清兵トが此ノ如キ有様ニテ東京  
廣西雲南トノ境上ニ對峙セバ長キ歲月ヲ經ル間ニ相

信爲テ確ムルニ由ナシト雖日目下ノ事情ヨリ考ガレ  
頗ル貴フニキモノ、如シ又仮合ヒ此報道ヘ事實ニ非  
トスルモ今後之ニ類スル事變ハ單晚兩國間ニ起ルサニ  
レザルベシ左ラヌダニ佛兵ハ敗北シ以テ戰爭ヲ終リ  
ルヲ遺憾ナリト思フ折柄從來小兒同様ニ佈リ居タル  
那人等ガ憲氣昂々トシテコレ見ヨガシニ己が領内ニ  
御スルナ見テハ佛人ノ氣象トシテ最早堪忍スルヲ能  
ベスル場合ニ至レバ支那人ガ東京ノ境内ニ於テ一禽  
殺シ一草ナ拔クモ亦以テ戰爭ノ原因トナルニ足ルベ  
我輩ハ遠カラズニテ第二ノ諒山事變ノ報ナ聽シコトア  
ル、ナリ昨年天津條約完結ノ報ナ聞キタルキ我輩ハシ  
京事件ハ是一約ナ以テ終ナ告ケタレ其久シカラズシ  
再ビ雲廣事件ナルモノナ生スルナラント云ヒコトア  
リ然ルニ其譏空シカナズシテ幾モナク諒山ノ一事  
リ遂ニ佛清第二回ノ粉議ナ生シ今日ニ至リテ始メア  
局ナ結バントスレ共我輩ハ此度ノ和約ニ付テモ亦尙早  
清ノ紛議ハ此一約ナ以テ結局ニ至ラザルベシト信ズ  
ナリ

雜報

○萬國衛生會委員 羅馬府在駐田中特命全權公使内  
書記官永井久一郎ハ兩氏は伊國羅馬府に於て萬國衛生  
會開設に付委員として參會をへき曾去月卅日仰付ら  
○英國へ出張 海軍大佐伊東祐亨、海軍大尉山本権  
衛、全勝原平二、海軍中尉出羽重遠、全勝、齊藤氏、海軍士  
機團士漫地定監、海軍大佐計平野爲信、海軍中主計係官  
多對三の諸氏之一昨四日御用より英國へ差遣はる  
旨仰渡されたり

○會計検査出張 檢查官濱弘一氏は去月廿一日會計  
査院に於て第一廳地方所在各廳會計検査として出張を  
付されたり

○外務書記生 外務省准典任御用岩天野瑞次郎氏は  
る二日外務書記生に任し在英國公使館在勤申付けられ  
同日外務省に於て准委任御用掛兼副付られたり

○櫻田代理公使の事務を代理す 櫻田代理公使が去  
三月十四日荷蘭海牙府にて死去したるよしは既ス記載  
せしが前後公使館内ニ事務を代理すべきものゝなきを  
リ倫敦に在りし大山書記官が海牙に赴き一時其事  
を執りたりと云ふ